

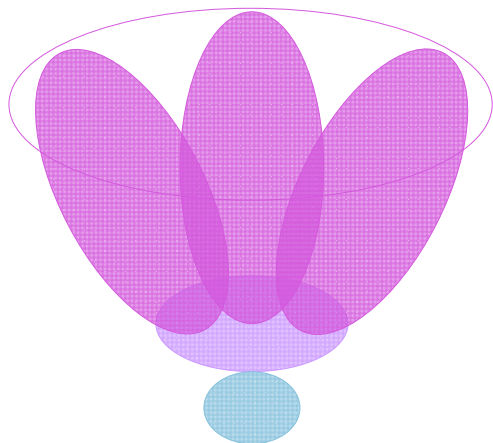
# 学びあう コミュニティ を創る

*Ochadai Round Tables:  
Summer Sessions 2010  
For Reflective Practice  
And Organizational Learning*

*For Creations of Learning Communities*

実践研究 お茶大ラウンドテーブル

実践の長い道のりを物語り  
展開を支える営みを聴きあう



- ★  
自らの実践を省察し  
展望をひらくために
- ★★  
実践を省察する  
学びあう職場と地域をつくるために
- ★★★  
お茶の水のキャンパスに新しい実践研究と  
研究ネットワークをつくるために

**2010.7.25**



お茶の水女子大学  
Ochanomizu University

お茶の水女子大学ラウンドテーブル実行委員会／社会教育実践研究フォーラム  
お茶の水女子大学生涯学習論研究室

第4版 2010. 6.18 (プログラムの変更等があります。)

## お茶大ラウンドテーブル2010

7/25(sun) 10:00-16:30

お茶の水女子大学 本館3F 大講義室(生活科学部306教室)

お茶の水女子大学では、多様な領域の実践者の方々やボランティアが学生・大学院生として学んでいます。附属校園では教師が子どもたちの豊かな成長を目指した授業を進めています。学生や大学院生は、様々な実践に向きあいながら、実践と学問との橋渡しについて考えています。

お茶大ラウンドテーブルでは、職場や地域で自分が関わった実践をじっくり物語ることを通して、実践の意味をあらためて位置づけ、省察し、次へのステップを見出しに行くことにします。職場や地域を、社会人や大人同士が実践を語りあい、聴きあう、学びあうコミュニティへと変えていき、一人一人がその中で、主体的な省察的实践者としての力を培っていく。そうした地道な取り組みが、少しずつ蓄積されてきています。試行錯誤しながら大切に進められてきているそうした取り組みを、より広く伝えあい、じっくり展開を聞きとり、学びあう場を作りたいと思います。

はじめに：ラウンドテーブルの意義と体験

10:00-10:30

展開を語る/プロセスを聴き取る

(小グループで実践の展開を聴きあいます)

session I 10:30-12:15

session II 13:15-15:00

(途中、12:15-13:15の1時間、お昼休憩をはさみます)

実践記録を土台に実践の歩みをじっくり語っていきたいと思います。心に残っている場面。言葉、表情、行為。その時々を感じていたこと。ふりかえる中で見えてきたつながり。話しあいと記録づくりの中ではじめて気づいたこと。いま改めて跡づけ直して考えていること。

語られる展開に耳を傾け、活動の場面を共有し、実践を共同で探究できる学びあうコミュニティづくりを目指します。

実践の語りから聞き取ったことについて語りあう

Session III 15:00-16:00

分野別(学校教育、日本語教育、社会教育、看護、保育、福祉、青少年など)のグループごとに話しあい、session I・session IIの語りにおいて何を聞き取り、何を考えたか、自分たちの分野・自分の実践に引きつけて考えてみたいと思います。

まとめ

16:00-16:30

# ラウンドテーブルについて

さまざまな職種や立場にいる人と語り聴きあうことで、  
かかわっている実践について共に考えあう時間をまずここで体験してみませんか？

- ラウンドテーブルは少人数のグループで学びあう一つの方法です。
- 批評や批判を受ける場（関係）ではなく、平等な関係の中で共にふり返る場です。
- 1グループ、4、5名の分野の違う人たちが集まります。
- 語り手（報告者）の方は1人30分から40分をめどに、職場や地域、あるいは大学の授業などで自分がかかわった実践について、実践記録を土台に実践の歩みをじっくり語っていただきます。
- session I、session II とも各グループ1名ずつの報告となります。

## ■ 報告について

実践は半年ほどの期間のものから1年、あるいは数年にわたる取り組みなど、比較的長い実践についてふり返ります。

ふり返る内容については、心に残っている場面。言葉、表情、行為。その時々感じていたことや、ふりかえる中で見えてきたつながり。話しあいや記録づくりの中ではじめて気づいたこと。いま改めて跡づけ直して考えていることなど事実の詳細にとどまらず、自分がどのように感じ、どのように動いてきたかなどを物語っていただきます。

## ◆ 準備

報告者が用意いただく資料は、実践の展開がわかるものであれば、短いものでも構いません。当日までにお手数ですが、10部程度ご用意ください。

## ■ 聴き手は

語られる展開に耳を傾け、活動の場面を共有し、報告者に寄り添った形で質問をすることで、報告者と共に実践をふり返り探究をすすめていきます。



2009年度お茶大ラウンドテーブルの様子

## ●申し込み●

ラウンドテーブルではあらかじめグループ編成をいたしますので、事前申し込みをお願いいたします。同時に実践報告の募集をしております。報告希望の有無もお知らせください。

○申し込み内容

①氏名、②所属、③連絡先（電話番号又はメールアドレス）、④報告希望（有・無、有の方はテーマをお知らせください）、⑤弁当（600円程度、当日徴収）希望（有・無）を明記の上お申し込みください。

○参加費：無料。

**申し込み先** E-mail: [ocharound@gmail.com](mailto:ocharound@gmail.com) Fax: 03-5978-5253

**申し込み締切** 7月10日（土）

**問合せ** : Tel&Fax: 03-5978-5253

**お茶の水女子大学大学院 生涯学習論研究室 三輪建二**

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学大学院

○大学への入構に際してこのパンフレットの提示が必要となりますので、必ずお持ちください。

○当日は休日のため、学内の食堂等は営業していませんので昼食をご持参いただくか、事前に弁当をご注文ください。正門前、茗荷谷駅からは春日通り沿いにコンビニ、茗荷谷駅構内にベーカリーがあります。

- **アクセス** 東京メトロ丸ノ内線 茗荷谷駅 徒歩7分 / 有楽町線護国寺駅 徒歩 15分  
JR大塚駅から都営バス「JR錦糸町駅行き」「大塚二丁目」下車（正門前）



※日曜日のため、南門は閉鎖しています。春日通りに面している正門へおまわりください。

※生活科学部は正門正面の大学本館の中にございます。

大学所在地：〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1

お茶大ラウンドテーブル実行委員会 / 社会教育実践研究フォーラム

基本デザイン 福井工房